別紙1

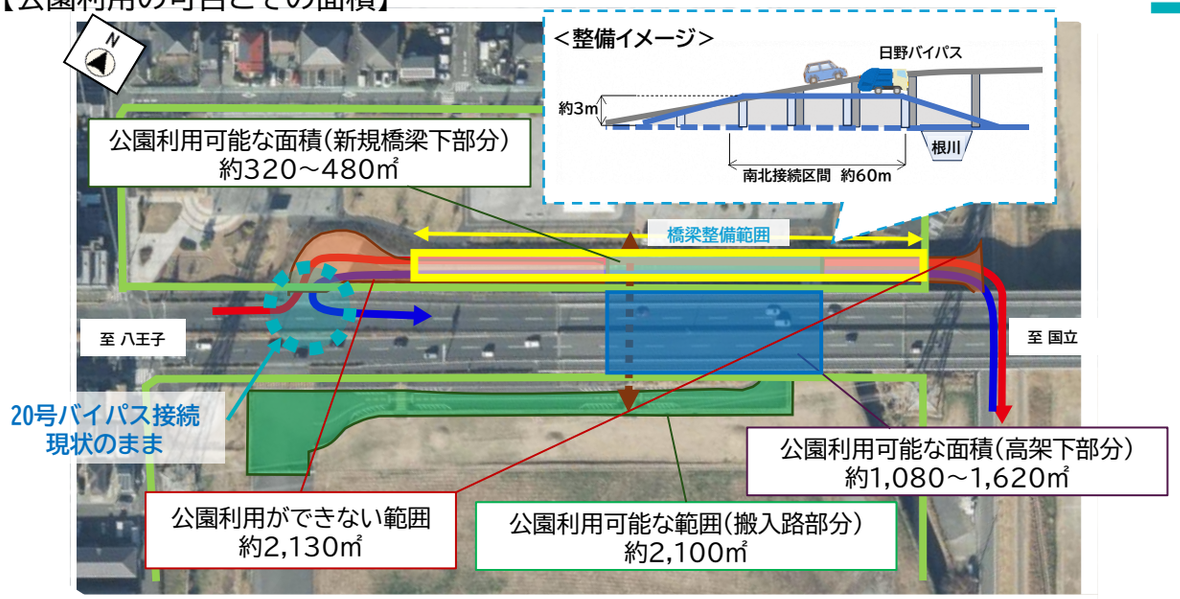
■ 違法状態解消の方策について

ごみ搬入路違法性解消の方策　搬入路の北側への集約立体化案

20号バイパス北側ごみ搬入路に南側搬入路も集約し、道路を立体化して下部を公園として活用する案です。（※北側の搬入路部分の都市計画変更が必要）

【特徴】
- ・新規の施設整備費用が必要（約6億円）
- ・公園利用ができる面積が増加する（下記 図の緑・青・水色部分）
- ・車両と歩行者動線の分離ができ、安全性が増す
- ・公園の南北の自由な往来が可能となる
- ・交通誘導員の設置箇所の減少が可能
- ・日野市の所有地のみで解消策の実施が可能
- ・小金井市、国分寺市の収集車の通行ルートの変更が必要
- ・新規築造と維持管理※に約10.6億円必要と想定（※ 橋の点検、交通誘導員等）
  （新規整備：約6億円　維持管理：約4.6億円　※整備後20年間の利用想定）

【公園利用の可否とその面積】



＋

搬入路を北側へ集約

現在、南北両方の公園にごみ収集車の搬入口を設けている状況ですが、北川原公園側にすべて集約し、国分寺市・小金井市（搬入）及び日野市（搬出）の収集車のルートを変更する必要があります。検討会で提案されたルート案は下記の通りです。

（1）日野橋ルート
（2）府中四谷橋ルート
（3）日野税務署西交差点（農協 みなみの恵前）でUターンするルート
（4）日野万願寺駅西交差点でUターンするルート

新たな社会実験候補ルート

搬入ルート（イメージ）

搬入ルートを一定期間試験的に変更する社会実験について（2024年10月21日～10月25日に実施済）

日野万願寺駅前交差点で国分寺市・小金井市の搬入ルートを試験的に変更する社会実験を日野市が実施しました。その結果、以下の問題が散見され、日野万願寺駅前交差点でのUターンは不適当という報告を受けたため、ルート案からは除外しました。

- ・通勤・通学等の駅利用者、買い物客、日野高校生徒など歩行者が多い交差点である
- ・Uターン中にモノレール側の信号が青に変わる場合があり、交差点内で歩行者の横断を待つ車が散見された
- ・右折レーンの滞留長が延びることで、直進車線にも影響が出る場合があった
- ・Uターンする車は大きく減速するため、右折する後続車の追突、接触が懸念される